

授業科目 機能解剖学

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学
鈴木 了		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：G10】					
骨格筋系の機能を起始、停止、走行等の機能面及びそれらに関連する関節の構造、特徴、てこの原理等から三次元的に理解し、また神経の分類と支配を分布領域等から筋と合わせて総合的に理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 解剖学および運動学の基礎および用語を理解し、それらを使用して説明できる					
2. 体幹のおよび四肢の骨格および靭帯、関節構造を領域毎に理解し、且つそれらを説明できる 2					
3. 全身の骨格筋の特徴および機能を理解し、関節との関係および実際の動作と関連して説明できる					
4. 末梢神経の走行、分布、分節を理解し、骨格筋の神経支配と合わせて説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	機能解剖学概論、解剖学・骨学の基礎－骨格、関節、靭帯の関連と機能			1-3	担当：鈴木 了
2	股関節 1－骨格系			1, 2	担当：鈴木 了
3	股関節 2－筋			1-3	担当：鈴木 了
4	膝関節 1－骨格			1, 2	担当：鈴木 了
5	膝関節 2－筋			1-3	担当：鈴木 了
6	足関節・足部 1－骨格			1, 2	担当：鈴木 了
7	足関節・足部 2－筋			1-3	担当：鈴木 了
8	体幹 1－骨格			1, 2	担当：鈴木 了
9	体幹 2－筋			1-3	担当：鈴木 了
10	上肢帯・肩関節 1－骨格			1, 2	担当：鈴木 了
11	上肢帯・肩関節 2－筋			1-3	担当：鈴木 了
12	前腕・手掌 1－骨格			1, 2	担当：鈴木 了
13	前腕・手掌 2－骨格			1-3	担当：鈴木 了
14	神経系 1－筋の神経支配			1-4	担当：鈴木 了
15	神経系 2－その他 末梢神経、自律神経等			1-4	担当：鈴木 了
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新 動きの解剖学	ブランディーヌ・カレール	科学新聞社出版	2009・6,000円＋税
参考書		カバンディ 関節の生理学 1～3	A. I. Kapandji 著、塩田 悦仁 訳	医歯薬出版株式 会社	2008
		解剖学アトラス	V. W. Kahle, H. Leonhardt, W. Platzer	文光堂	1990・10,000円＋税
		日本人体解剖学（上下巻）	金子 丑之助	南山堂	2000
		図解 関節・運動器の機能解剖 (上肢・脊柱編, 下肢編)	J. Castaing, J. J. Santini	協同医書出版社	1986
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
態度、出席、試験結果等を総合評価		<p>進行、担当は変更される事があります。</p> <p>また講義資料を配布すると共に、当指定教科書の他に「解剖学」「基礎運動学」の指定教科書も使用します。</p> <p>短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、必ず予習、復習することが非常に重要となります。なお参考書は非常に高価です。</p> <p>無理に購入せず、図書館等を有効に活用し、今後の必要に応じて購入するようにして下さい。</p>			